

香流苑解体撤去工事説明会及び香流苑跡地の考え方についての意見交換  
(議事要旨 第1回)

(敬称略)

日時	令和5年7月21日(金) 午後7時から午後9時30分まで
場所	北小校区共生ステーション
参加者	<p>地元参加者 34人参加</p> <p>市側(説明)</p> <p>くらし文化部長 くらし文化部次長(たつせがある、環境担当) 環境課長 同課課長補佐 同課ごみ減量推進係長 堀田主事 市長公室長 市長公室企画政策課室長 高橋主事</p> <p>(株)前田産業 名古屋支店(香流苑解体撤去工事業者) (株)環境施設コンサルタント(香流苑解体撤去工事施工監理業者)</p>
内容	<p>1 香流苑解体撤去工事の説明</p> <p>2 香流苑跡地の考え方についての意見交換</p>

(議事要旨)

1 香流苑解体撤去工事の説明 以下、主な発言等

発言者	発言内容
参加者	香流苑に関する尾張旭市と長久手市の覚書は、1号と3号だけか。覚書2号はないのか。
回答者	<p>覚書1号には、一部事務組合として閉鎖したあと施設を現状有姿で民間等へ売却し、尾張旭市との持ち分割合(建設当時の経費割合)で分配する旨が記載されていました。</p> <p>覚書2号には、覚書1号の詳細が記載されていました。尾張旭市が所有している昭和苑の長久手市の持ち分を香流苑の長久手市の持ち分の中に統合・精算すること、その持ち分割合や金額等を記載したものになります。</p> <p>その後、香流苑で土壌汚染が判明したため、尾張旭市との協議において、現状有姿で売却することを撤回し、施設を解体撤去するとともに更地にする方針に変更しましたので、覚書1号及び2号は一度廃棄し、新しい方針の内容で改めて覚書1号</p>

	及び2号を締結し直しました。 覚書3号には、施設を閉鎖し、建屋の解体・土壌汚染の除去の工事費を尾張旭市と負担し合い、長久手市が尾張旭市の持ち分を買い取り、所有するという内容が記載されています。
参加者	アスベスト、ダイオキシンの場所をしっかりと把握しているか。 また、いつ撤去するのか。
回答者	資料のとおり、汚染物質の位置、範囲、深度を確認しています。 工程は随時、掲示する予定です。
参加者	樹木の伐採工事における騒音、落ち葉、粉塵等を心配している。
回答者	伐採工事については、できる限り、飛散しないように対策します。
参加者	今後、工事の進捗等の報告、説明会を開催する予定があるか。
回答者	現時点では考えていません。 工程表等については、回覧板、掲示板等でお知らせします。
参加者	施設の敷地にある樹木の本数、種類を把握しているか。 伐採しないといけない樹木の本数を把握しているか。
回答者	敷地内に高木・低木含め、800本程あり、300本程撤去する必要があります。 撤去する樹木については、土壌汚染物質を完全に排除するため伐根します。
参加者	樹木について、伐採ではなく枝払い程度でいけないか。
回答者	可能な限り、対応します。
参加者	高木には、どのような樹木があるか。
回答者	ヒマラヤスギ、クスノキ等が100本以上樹生しています。
参加者	現状有姿で建屋を残すと聞いていたが、ここにきて唐突に解体工事するとを知らされた。これまでの経緯は、どのようなだったか。
回答者	議会では説明してきましたが、地元への説明をしておらず、申し訳なく思います。 尾張旭市と長久手市で共有した状態で、解体工事費用も両者で負担し合うと合意し、覚書を交わすに至りました。
参加者	「あえて歩いてみたくなるまち 長久手」として今回の解体工事は必要なことか。
回答者	土壌汚染は放っておかず、そのために解体工事が必要となります。
参加者	回覧板等で工事工程や進捗を地元を示してほしい。

	工事責任者の連絡先、問合せ先もこの際、示してほしい。
回答者	工程表は地元の皆さまへ回覧板等で示していきます。 問合せ先は環境課になります。
参加者	尾張旭市との清算費用の負担割合はどのようなか。
回答者	税の人口割、均等割、昭和苑（尾張旭市）の持ち分等から長久手市が6割、尾張旭市が4割と決められています。
参加者	工事の仮囲いは、一部でも透明にして工事現場の様子が見えるようにしてほしい。
回答者	検討します。
参加者	工事作業中、一番大勢の工事作業員が来る時間帯はいつか。 作業員の駐車場は敷地内か。
回答者	混雑ピークの時間帯は想定できず、お伝えできませんが、通行する作業車は、1日最大延べ30台を予定しています。 作業員の駐車場は敷地内です。
参加者	住宅地に適合した騒音、振動の対策をしてほしい。
回答者	騒音は通常85デシベルまでですが、65デシベルで管理します（70デシベルは蝉の鳴く声、60デシベルは洗濯機や掃除機の使用音くらい）。 振動は通常75デシベルまでですが、60デシベルで管理します（65デシベルは電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れるくらい）。
参加者	下川原交差点、前面道路では大型車両がすれ違いできないくらいの危険箇所、児童や生徒が登下校する時間帯は、10トン車の通行を控えてほしい。 危険箇所には、誘導員を配置してほしい。
回答者	大型車両通行の時間帯についての制限は、検討したいと思います。 誘導員については、資料のとおり配置します。
参加者	西側マンション沿いの樹木は残してほしい。
回答者	建屋の解体工事、土壌の撤去工事にかかる樹木については撤去します。
参加者	作業は、休業日に原則しないと記載されているが、祭日・日曜まで作業されてはたまらない。
回答者	「原則」が記載されている理由は、休業日に台風等緊急時に対策作業が必要とされる場合があるためです。
参加者	下川原橋など通行に危険な箇所がある。誘導員を配置できるか。
回答者	誘導員は資料のとおり、2名程度を配置する予定です。

参加者	現場の北東角の囲いについて、半透明の囲いにする等見通しをよくしてほしい。
回答者	検討します。
参加者	囲いは、敷地内での設置を予定しているか。 樹木が障害になるはずである。その場合、伐採するのか、枝打ちだけで済むのか。
回答者	囲いは敷地内で設置します。 障害となる樹木については、可能な限り枝打ちだけで済むようにします。
参加者	ゲートについては、セットバックしてほしい。 誘導員について、3人くらいは配置してほしい。 囲いは、クリアパネルにしてほしい。
回答者	検討します。
参加者	令和3年1月にあった地元の長湫地区北部自治会連合会からの要望書はどのような内容か。
回答者	「これまで香流苑の処分に関する経緯と今後の方針について早急に説明会等をしてほしい。跡地は市の所有として保存してほしい。」という内容です。
参加者	アスベスト・土壌汚染は、周辺住民の生活に影響を及ぼすようなレベルのものか。 汚染物質を安全に撤去できるか。
回答者	汚染物質を口に入れ続けて、何十年後かに人体に影響するかも知れない程度のも のです。 飛散しないように対策した上、順次、撤去します。 ダイオキシンの除去作業については、外の空気を吸い込み、外へ空気が漏れない ようにする飛散防止対策と集塵機の使用、また空気測定を行い、数値で管理して安 全対策していきます。
	以上

## 2 香流苑跡地の考え方についての意見交換 以下、主な発言等

発言者	発言内容
参加者	土壌汚染が判明したために、道路に面したカイヅカイブキを30本切ると答弁された。議会での発言と異なるが、どういうことか。
回答者	解体撤去工事中、香流川沿いの道路と下川原橋の入口付近の道路は、現状の幅員のまま道路を東西に行き来します。 道路側にあるカイヅカイブキは土壌汚染による影響ではなく、道路拡幅の影響で

	切るとお伝えした答弁に誤りはありません。
参加者	長久手西通りよりも西側は密集しているのに周囲には3つの公園しかない。この地域は0.8㎡/人で、みどりの基本計画では5㎡/人としているのに非常に少ない。これでは災害が起きたとき不安である。どこへ逃げればいいのか。水も食料も支援受けるのにも困るので、下山エリアの中央にあってほしい。だから、香流苑は地域で残してもらわないと困る。
回答者	香流苑は、ほとんどが浸水のエリアです。まずは、既存の一時避難場所の公園で対応します。現状の香流苑は人が入れない施設となっているため、避難所にはなりません。また、あくまで大雨の際の避難についてですが、浸水想定エリアの香流苑よりもなるべく上流の南に向かい、川から離れた矢印方向の公園に避難経路を想定しています。 地震の場合の空地という意味で場所の確保が必要である等の意見があれば、どのような形で残したいかご意見いただければと思います。
参加者	一時避難所の公園が0.8㎡/人だと満員電車の押し合いへし合いと同じで危ない。北小学校に行くのに川を渡らないといけない。避難場所として北小学校は土地が低く、浸水するとも思う。それなら、高い建物を建てて、避難できるようにすべきである。
回答者	北小学校は水防上は浸水想定エリアから外れています。川沿いなので必ず安全とは言えませんが、このエリアの住民が必ず北小学校に行かないといけないわけではなく、安全な避難所に移動していただければと思います。例えば西の共生ステーションです。避難場所については、そのときの状況に応じて安全な場所に避難いただきたいと思います。 垂直避難も候補の1つだと考えます。安全な避難箇所を増やすという意見として頂戴します。
参加者	尾張旭市から買収費用は回収が必須と考えているのか、または、住民のために開放する必要があるれば最終的に何になるとしても回収を妥協してもよいと考えているのか。
回答者	市には財政計画がありますので、その兼ね合いはありますが、今日は是非自由なお考えを伺いたと思います。
参加者	解体費用は、し尿処理事業の中で消化すべきもので、施設事業終了時の必要経費である。つまり、投資的経費ではない。投資的経費は4億3000万円だけで、そこに鑑定費用があればこれを足し込むのは構わないが、これらはし尿処理事業で消化すべきで、その他のものまではカウントすべきではない。
回答者	ご意見ありがとうございます。
参加者	前回の6月議会で道路拡幅工事に関する補正予算が可決された。住民生活に直接的に関係する内容であるのに、補正予算で出てくるのが問題である。十分な検討がなされているのか。都市計画法で9m道路に接しなければ、1ヘクタールを超え

	<p>る開発許可が下りないとなっている。9m道路を整備することは1.6ヘクタールに及ぶ土地を一括売却する前提をつくることになるはずで、こんなことを6月議会で説明されて、「7月21日（金）に住民の意見を聴いてこれから一緒に決めていく」と言われても信頼できない。信頼してよいのか。</p>
回答者	<p>市としては、売却の方向性も常にもっています。財政的な面も含めて行政運営のバランスを考えていく必要があります。</p> <p>ただ、売却前提ではなく、みどりを残し公園にするにしろ、売却するにしろ、今以上の維持費がかかりますし、交通量の増加は想定されます。小中学生の通学路になっているため下川原橋から下山交差点に向かう歩道のない道路に歩道の連続性を持たせることは必要だと考えています。そのなかで、確かに現状、市は9m道路整備の計画を予算上もっていますが、それは9mと言えども車道は6m、歩道は3mで、歩道3mのなかの一部が緑地になることも想定されます。香流苑前面道路の道路環境は、やはり改善すべきで、仮に香流苑が売却になったとして、今よりもよい道路環境を保てると予測しています。緑地になったとしても地域の皆さまの往来が増えることを考えて安全を担保する必要を感じています。</p> <p>売却も考慮に入れていますが、住民の皆さまと一緒に考え、進めたいと思います。</p>
参加者	<p>参加スタッフで長久手市民は何人か。市外の方には市内在住の方と温度差なく、同じように白紙に戻した気持ちで考え直すことを願います。</p>
回答者	<p>4人です。しかし、市長以下、スタッフ全員が同じ気持ちで挑んでいます。</p>
参加者	<p>補正予算まで出して、予算を執行しないというのは行政の不手際で、撤回すると言われても信用できない。住民が知りうるタイミングは、特定の市議会議員の会合だけであった。これからは市からしっかりと説明されることを要望する。</p>
回答者	<p>これから住民の皆さまと対話を重ねたいと考えています。</p>
参加者	<p>長谷工コーポレーションがマンションを建てる時学校や公共施設数が足りない等の理由で戸数を減らしてもらったと聞いている。また売却するような事態が生じたら、準工業地域だから何でも建てられるので、マンションが建てられるに決まっていると思う。そうなる学校や公共施設等は逼迫すると思うが、これについて市としての考えはどうか。</p> <p>安心して暮らせる、いい環境で暮らせる、そのなかには水没、通学路・交通、公園等いろいろな問題・要望があり、多方面から住民の意見を聴く必要がある。その姿勢があるなら、行政として考えた絵を示し、お互い意見を交換したい。</p>
回答者	<p>道路拡幅に関しては、みどりを残すため公園にする、売却する、といかなる利用であっても道路環境だけは整備していきたいと考えていますが、幅についてはこれから検討することもあると思っています。</p> <p>都市計画の考え方において、仮に香流苑を売却することになった場合、この地域は人口密度が高く、特に長久手西通りから西側は北小校区の中でも、西側が65%</p>

	<p>であること、香流苑跡地にマンションや住宅がこれ以上飽和状態になると保育園、小中学校、下水道処理のことを含めインフラがもたないことを市としても調査で把握しています。あくまで仮の話ですが、売却するにしてもマンションや住宅でない、住環境に配慮したものとは考えています。</p> <p>本日の意見交換会のほか、明日3回の意見も含めたものを皆さまにお返しして、意見交換を重ねたいと思います。</p>
参加者	<p>道路拡幅は西側が広がり、東側が狭いまま残ると思う。一方通行で、すごい勢いで走ってくるのは住民としては避けたいので、道路拡幅計画の中で合わせて検討してほしい。</p>
回答者	<p>下川原橋から香流苑東の端まで道路設計を今後発注していくことになりますが、その設計のなかに道路拡幅、通り抜け対策、交差点接続部の検討等含まれています。単に拡幅をすると交通量が増えることに繋がるので、香流苑の跡地利用や今後の道路環境の変化を見据えながら、必要に応じて交通規制も含めて検討することとします。</p>
参加者	<p>香流苑は誰が管理しているか。行政は縦割りで、伸びたい放題の樹木や詰まった排水はできる範囲で住民が片付けていて、できない範囲は水が溢れている現状を行政は知らない。管理できていないのに新しい施設を考えること、伸びた樹木を切る相談をした際には道路沿いのクスノキを3, 4本切っただけだったことに不満もっている。</p>
回答者	<p>香流苑の管理については、令和4年3月まで組合の管理でしたが、現在は尾張旭市と長久手市が共有しています。現状、維持管理は尾張旭市が、解体撤去工事は長久手市が実施しています。今年度中に長久手市が尾張旭市の持ち分を全て購入するので、その後は長久手市が管理していきます。</p>
参加者	<p>組合が解散するとわかっていたのに都市計画はなかったのか。都市計画があつて、多少の意見から計画の軌道修正があつたなら理解できるが、今は納得できない。</p>
回答者	<p>当初一部分についてみどり残す、残部分について売却という方向でした。しかし、きちんと住民意見を取り入れることが大切だと考えたため、このような場を設けさせていただきました。</p> <p>厳しい意見も市で共有したいと思います。すべて受け止め、市と地域でいい方向にしたいので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。</p>
参加者	<p>6月議会の答弁から180度転換している。何を信頼したらいいか。</p>
回答者	<p>道路環境を整える目的で、土地の購入及び調査実施の議案が上程され、議案に関して、市議会議員から厳しい意見もいただいた。実際、委員会では否決でしたが、本会議では1票差の可決でした。市の方針としては売りたいという方向性には変わりはありませんが、香流苑という場所が皆さまにとって最も望ましい場所であるべきなのか、売りたい考えはあるものの、白紙にしてでも皆さまと会話のキャッチボールを繰り返す必要があると考え直しました。意見は100人いれば100個あり、</p>

	<p>万人が納得できることはないと思います。それは対話を繰り返すなかで、住民と行政が歩み寄る形でベストな方法を出したいと考えています。</p> <p>6月議会で厳しい意見をいただいたことは、市民の代表からの声、みんなち条例に沿ったまちづくりを進めていく原則があるので、真摯に受け止めています。</p> <p>ただそれにしても、この状態を野ざらしにしておくわけにはいかず、自分の経験談ですが、施設を放置しておくで住民から雑草繁茂が不快である、気味が悪いとお叱りを受けたことを懸念し、野ざらしのような状態を避けるべく、取り急ぎ工事だけは進めさせていただきたく、ご理解をお願いするものです。</p> <p>跡地利用のことについては、ここから出発と捉えていただきたく思います。</p>
参加者	<p>長久手市はゼロカーボンシティ宣言をしてるまちなので、みどりは残してもらいたいと思う。名古屋市の1番近いところにある、1番みどりの多い市としてPRしてもらいたい。長久手市にはジブリパーク、IKEA、日東工業という環境水準に厳しい優良企業もあり、そう姿勢を市民も大事にしていきたい。香流川を清掃している者にとっては、ありがたい支援である。</p> <p>セントアースに小さな子どもが座って遊べるブランコはなく、孫を遊ばせるのに高齢者が腰を曲げなければならない。伝えたいのは、公園が少ないということである。みどりがあること、防災面では一時避難所ということも考慮してほしい。市内にこんなに広い土地は残っていないので、公園になることを要望する。</p>
回答者	<p>ゼロカーボン始めみどりの保全に関する問題、それから防災上の在り方等たくさん意見がありましたので、これら含め持ち帰らせていただきます。</p>
	<p>以上</p>